

2014年 社長(平井 茂雄)年頭挨拶について

各位

新年明けましておめでとうございます。

本で行われた、当社社長 平井 茂雄の社員に対する年頭挨拶の要旨を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業環境

昨年から第2次中期経営計画がスタートしたが、油価や為替の見通しは不透明であり、JX開発グループが置かれている事業環境は依然厳しく、楽観は許されない。

石油開発会社の経営の基本は、計画どおりに生産・販売するとともに、それ以上に埋蔵量を補てんすることである。したがって、第2次中期経営計画においては、利益目標の達成はもちろん、生産量の増大、埋蔵量の補てんに拘っていききたい。

2. 長期目標の達成

JX開発グループは、長期ビジョンの中で、オペレーターシップを主体として持続的に成長する石油開発会社を目指し、2020年に生産量20万BDを達成するという目標を掲げた。この目標は、イージーオイルの減少や探鉱、権益取得コストの上昇などを考えると、確かに達成は容易ではない。しかし、チャレンジングな目標に向かって新たな取り組みを模索する中でこそ、革新的なアイデアが生まれ、それが会社の成長を促し、ひいては将来の飛躍につながるものと信じている。

20万BDという目標を達成することによって、長年に亘って築き上げてきた産油国や国営石油会社との強固な信頼関係とも相俟って、JX開発グループのプレゼンスが一段と向上し、ビジネスチャンスが拡大していくものと確信している。

この目標達成に向けて、私自身が先頭に立ち、意思決定の機動性と業務の効率性を高めるための取り組みを進める。

課題を解決するためには、既成概念にとらわれない新たな発想や決断が必要であり、役員、社員の一人ひとりが当事者意識とスピード感を持って行動に移すことが重要である。

3. 社員へのお願い

1点目は、安全の確保と健康の維持である。操業現場の皆さんには、安全を最優先に仕事を進めることを、重ねて強くお願いする。

2点目は、コンプライアンスの徹底である。法令遵守は事業遂行の大前提であり、進出国の法令や社内の規則、契約に従うことはもちろん、社会通念、世間の目線というものも意識してほしい。

最後は、スマイルとユーモアである。「笑う門には福来る」というが、明るく、楽しく、元気よく仕事を進めることで、福を招き入れたい。

以上